

# 木曾川町連区

# 第12号

## 地域づくり協議会だより

発行日：平成27年8月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会  
一宮市木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005  
メールアドレス k-chiki@orihime.ne.jp

\*\*\*\*

### 敬老会開催のご案内

\*\*\*\*

一宮市社会福祉協議会木曾川町支会長 今枝 正清

多年にわたり社会の進展に貢献されました高齢者に対して、敬愛・感謝の意を表し長寿を心からお祝いする『木曾川町連区敬老会』が、下記のように決まりましたのでご案内いたします。

対象者には、近くご案内のハガキが届きます。皆さんお誘い合わせの上お出かけ下さい。

今年の75歳以上の対象者は、3,873人（平成27年4月1日現在）で昨年より200人ほど増えており、巡回バスも里小牧、玉ノ井、内・外割田方面で、中型バス1台増の計5台としました。

巡回バスの時刻表、停留所などにつきましては広報9月号配布時に回覧させていただきます。



◆日時 平成27年9月12日（土）  
午後1時30分（正午開場）

◆場所 一宮市木曾川体育館

◆対象者 75歳以上（昭和15年12月31日までに出生の方）で住民基本台帳に記載されている方

◆巡回バス 南黒田、北黒田方面 : 大型バス1台  
里小牧、玉ノ井、内外割田方面 : 大型バス1台、中型バス2台  
堤内方面 : 中型バス1台

◆内容 1. 式典 1時30分～1時50分  
2. アトラクション 2時00分～3時00分

◆アトラクション出演者 冠二郎 ・ かんたろう（漫談）

アトラクションはユニークなキャラクターで愛され、力強く盛り上げてくれて「炎」などでNHKの紅白歌合戦に3回出場実績のある「冠二郎」の歌謡ショーと「かんたろう」の漫談を用意しております。お友達、隣近所お誘い合わせの上、気をつけてお越しください。お待ちしております。

\*\*\*\* 今月号から保育園の紹介が始まります \*\*\*\*

## 外割田保育園

当保育園は、乳児70名、幼児150名を預かる大規模な園です。また、早朝・延長保育指定園ということもあり、朝は7時30分から、夕方は7時までお子さんのにぎやかな声が聞こえています。天気の良い日はできるだけ戸外に出て遊びます。砂場では砂の感触を楽しみながら、「どうぞ」と御馳走を作ったり、築山では土を丸め団子を作ったり、戸外の風を感じながら散歩やスケーター遊び等を楽しんでいます。遊びを通して、小さい子は大きい子と一緒に遊んでもらったり、やさしく声をかけてもらったり…。そんな姿は私たち保育士の心をほっこりさせてくれる瞬間でもあります。

### 保育目標

- ☆ 元気一杯 体を動かして遊ぶ子
- ☆ 思いやりの心で 人とかかわる子
- ☆ 様々な体験を通して意欲的に遊ぶ子

また、保育園の片隅には畑が3か所あります。トマト、とうもろこし、スイカ、枝豆、きゅうり、なす等、季節の野菜が勢揃いです。毎日、成長を楽しみに見えています。収穫できると、「きゅうり、イボイボだね」「これ曲がってるよ」と皆で触ったり、匂いをかいだり…。給食に入れてもらうと、「保育園のきゅうりあった!」と大喜びで見つけて食べています。

四季折々に、お子さん達が保育士や友達と一緒に色々な経験をすることで、様々な事を感じ、考え、心豊かに成長されることを願い、職員一同、力を合わせて頑張りたいと思います。



## 里小牧保育園

“自然と人とのかかわりを大切に”

宇夫須奈（うぶすな）神社境内に開設されたのは昭和32年4月1日。現在の場所に移ったのは昭和55年4月1日。現在58年の歴史があります。

「孫と息子は今の保育園だけど、うちのお祖父さんは宇夫須奈さんのところだったのよ」と送迎のお祖母さんからお聞きしたり、行事で来園されたお父さんが「先生、ぼくはこの保育園出身で、親子そろってお世話になってます。」と懐かしそうに話されたり…。古くから地域に親しまれているんだなと実感します。長年、園のシンボルだった通称「プリン山」は、老朽化のため惜しまれつつ撤去しましたが、広い園庭全面に張られた芝が保育園の新しいシンボルとなりました。その芝生に立つと、園庭を渡る心地よい風に包まれます。見上げると、さえぎるものがない高い空が広がっています。クローバーの広場は、毎年虫探しの男の子や草花遊びの女の子に人気の場所です。そんな自然豊かな環境の中で、子ども達は毎日元気いっぱい。よく食べよく遊び、欠席する子はほとんどいません。先日遠足に出かけた時、竹林のところで赤いカミキリムシが!「これは何?!」と驚きの発見です。調べてみると、「ベニカミキリムシ」という名前で、竹林で生まれ花々に飛んでいくということが分かりました。園周辺にも子ども達が知らないたくさんの“ふしぎ”があるんですね。散歩にでかければ地域の方にいろいろ教わることがあります。出会う人とのかかわりを大切にしながら、地域・自然に根付いた保育園でありたいと思っています。

